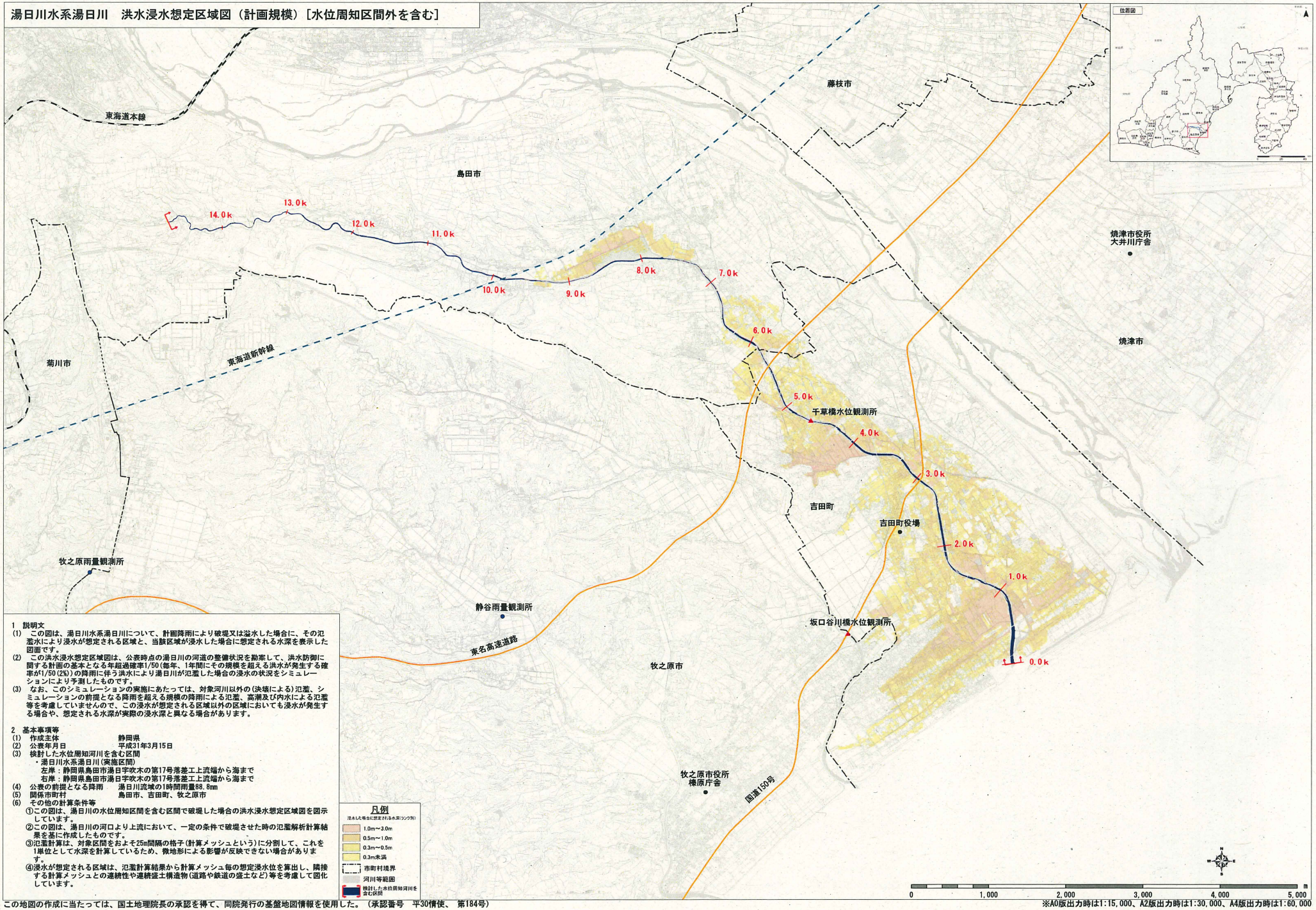
湯日川水系湯日川　洪水浸水想定区域図（計画規模）［水位周知区間外を含む］



1　説明文

(1)　この図は、湯日川水系湯日川について、計画降雨により破堤又は溢水した場合に、その氾濫水により浸水が想定される区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2)　この洪水浸水想定区域図は、公表時点の湯日川の河道の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)）の降雨に係う洪水により湯日川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3)　なお、このシミュレーションの実施にあたっては、対象河川以外の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2　基本事項等

(1)　作成主体　　静岡県

(2)　公表年月日　　平成31年3月15日

(3)　検討した水位周知河川を含む区間

・湯日川水系湯日川（実施区間）

左岸：静岡県島田市湯日字吹木の第17号落差工上流端から海まで

右岸：静岡県島田市湯日字吹木の第17号落差工上流端から海まで

(4)　公表の前提となる降雨　　湯日川流域の1時間雨量88.8mm

(5)　関係市町村　　島田市、吉田町、牧之原市

(6)　その他の計算条件等

①この図は、湯日川の水位周知区間を含む区間で破堤した場合の洪水浸水想定区域図を図示しています。

②この図は、湯日川の河口より上流において、一定の条件で破堤させた時の氾濫解析計算結果を基に作成したものです。

③氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。

④浸水が想定される区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号　平30情使、 第184号）

※A0版出力時は1:15,000、A2版出力時は1:30,000、A4版出力時は1:60,000